

地域の自然を知ろう!遊ぼう!守ろう!

# A はっけん隊 アクションレポート Action Report 2018.6月～8月

平岡幼稚園では、園内外の様々な環境に目を向け、地域の自然とのふれあいを深めながら、自然を守っていく活動に取り組んでいます。

トンボと遊ぼう平塚  
～土屋里山体験フィールドにて (7/8)

逃げないように、そっと・・・

## トンボと遊ぼう平塚 (土屋里山体験フィールド)

トンボと遊ぼう平塚は、「平岡幼稚園」・「里山をよみがえらせる会」・「ひらつか環境ファンクラブ」・「NPO法人暮らし・つながる森里川海」などが共働で運営する「フォーラムトンボの棲む街づくり」の市民交流イベントです。2018年7月8日(日)に、水と緑の豊かな「土屋里山体験フィールド」にて、市民の皆さんと一緒に様々な生き物とふれあって遊びました。この日確認されたトンボ類は、オニヤンマ・カトリヤンマ・マユタテアカネ・シオカラトンボ・オオシオカラトンボ・ハラビロトンボ・アオモンイトトンボの7種。その他、ノコギリクワガタ、ヤマトタマムシなど子どもたちの人気者も見つかり、子どもたちの歓声が飛び交う楽しい1日となりました!

谷戸から湧き上がる歓喜の声～生きものと触れ合って



オニヤンマは成虫になるまで3年かかると知って驚きました (園児母)



皆が見つけた生きものを持ち寄って披露したね



色んなカエルが見つかりうれしかったぞ (卒園児)



オニヤンマのぬけがらだよ♡



ニイニゼミのぬけがら!



そっちに行っちゃったぞ!



よし!捕まえた!



ハラビロトンボのオスとメス



ヒガシキリギリス



色んな虫と出会えたね!

コクワガタ♀

メスとオスで色が違うトンボがいることが発見できてよかったぞ (園児母)



土屋水源谷戸

カエルが一番楽しかった! (園児)

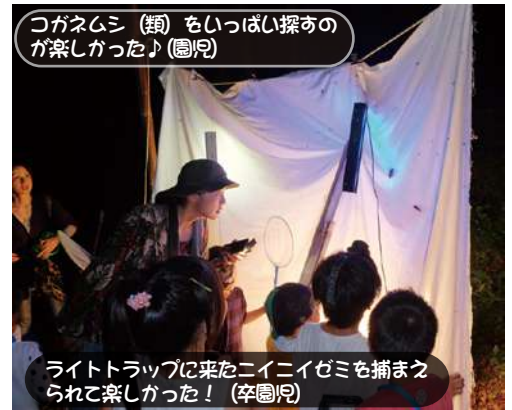
大きなオニヤンマのヤゴがあつた! (園児)

娘がいろんな子ヨウを追いかけて楽しんでいました。参加して良かったぞ (園児母)



## ライトトラップ観察会

平成30年7月14日(土)、土屋里山体験フィールドにてライトトラップ観察会を実施しました。当日は、新月で無風、気温も湿度も高く、ライトトラップには好条件だと思ったのですが、生きものの活動はなぜか低調でした。それでも、徐々に生きものが集まりだしてきて、夜間に活動する生きものの世界をみんなで楽しく観察することができました。見られた生きものうち種名が判明したものは、P9～20の「みんなで作る生きもの図鑑」にも掲載してあります、ぜひ探してみてください。最後に、準備・片付け等をお手伝いいただいた“里山をよみがえらせる会”の荒井啓三会長、P14に掲載したヨコバイ類やアワフキ類の同定をしてくださった埼玉大学名誉教授の林正美先生に感謝申し上げます。



## 柳谷(県立茅ヶ崎里山公園)観察会

茅ヶ崎野外自然史博物館主催の「夏の花・夏の虫(平成30年8月11日実施)」、「夜の鳴く虫観察会(平成30年8月25日実施)」に参加してきました。

「夏の花・夏の虫」では、アゲハやクロコノマチョウなど22種類の蝶類、ショウリョウバッタモドキやオナガササキリなど9種類のバッタ類、ニイニゼミやヒグラシなど6種類のセミ類、カブトムシやノコギリクワガタなど9種類の甲虫類など、たくさんの生きものが観察されました。また、平岡幼稚園発行の「セミのぬけがら図鑑」を使用してぬけがら探しも楽しみました。

「夜の鳴く虫観察会」では、クツワムシやマツムシなど24種類のバッタ類が記録され、昆虫たちの様々な音色を楽しみました。また、ノコギリクワガタやコクワガタなど樹液に集まる昆虫たちも観察でき、楽しい観察会となりました。





## ヘイケボタル観察会

平成30年6月29日（金）、7月6日（金）の2回実施したヘイケボタル観察会。今年はヘイケボタルの発生が早かったようで、6月29日には既に多くの個体が見られました。僅かですが、ゲンジボタルも見られたので、ヘイケとゲンジの違い（大きさ・点滅の間隔・光量の違い）を皆で観察することができました。

一方、7月6日（金）は、開始直前の17:00頃から急に雨が降り出してしまい、止む無く中止に。ただ、連絡の行き違いで数家庭が現地に来たので、ダメ元で雨が止むのを待っていたところ…、なんと！一時的に雨が止んだのです。皆で周辺を散策してみたところ、草陰で光るヘイケボタルが次々と見つかり、僅かですが飛翔する個体も観察することができました。みんながホタルを見たいという願いが天に届いたのかな！？



## 市内のセミのぬけがら調べ 2018

今年で5年目になる市内のセミのぬけがら調査です。この4年間の調査で、市内におけるセミ類の発生現況は、あらかた明らかにすることができました。これもみんなが協力して出した大きな成果です！そこで、2018年は園単独の調査はお休みしまして、平塚市博物館との協働イベントのみ実施しました。

**講習会 (7/21)**：平塚市博物館の講堂で実施。平塚市で見られるセミの種類について、成虫・幼虫の生活、調査のやり方などをお話して、実技（ぬけがらの見分け方、文化公園でぬけがら探し）をしました。

**合同調査 (8/1)**：みんなで平塚市総合公園でぬけがら探しをしました。エリア別にぬけがらを集計することで、同じ公園の中でも、樹木環境によって、見つかるぬけがらの種類が違ってくことを知ることができました。

**まとめ (8/22)**：それぞれの調査員が集めたぬけがらを持ち寄って、種類別、オスとメス、に分けました。みんなが個別に集計した結果から果たしてどんなことが分かったのでしょうか？後日、レポートをまとめて、参加してくれた皆様にお配りします。お楽しみに♪





## ひらつか環境フェア 2018

2018年7月18日(水)～22(日)に実施された“ひらつか環境フェア2018”に参加しました。期間中、平岡いきものはっけん隊のパネル展示を行ったほか、7月22日(日)には、毎年好評の「セミのぬけがら図鑑作り教室」を出展しました。今年もたくさんの市民の皆さんに作っていただき、実際にぬけがらの見分けを楽しんでもらいました。この図鑑が、身近な自然に親しむきっかけになると良いな～と思っています。



パネル展示



平岡幼稚園ブース

図鑑作り



来てくれた人  
ありがとう!



魚と魚をびったい合わせて...



ス～  
この出っ張りが  
ちがうの?



ほんとだ!  
オスとメスが  
ちがう!

ぬけがらの見分け体験

## こども環境教室～里山体験～

今年も園長がスタッフとして参加する関係で、はっけん隊の皆さんをお誘いして、里山の自然とふれあいながら遊んできました!多数のお申込みをいただき、ありがとうございました。参加枠に限りがあったため、抽選となってしまいました。参加できなかった皆様、申し訳ございませんでした。

谷戸の低湿地帯と、里山の樹林帯が複合する土屋里山体験フィールドは、様々な生きものが見られます。低湿地帯ではシュレーゲルアオガエル・ハラビロトンボ・ヒメギスなどが見つかリ、樹林帯ではカブトムシ・クワガタ類・カナブンなど樹液に集まる昆虫類や、セミのぬけがらも5種類が見つかりました。昆虫探しの後は、木の枝や実などを使って工作遊び楽しんだり、里山遊びを満喫した1日でした!



竹で遊びのが楽しかった (園児)

ぶんぶんまわる竹細工作りも、子供が真剣にやっていた良かったぞ (園児父)



トカゲって  
きれいね～♪



色ないきもの  
見つけたよ!



コクワ!  
かっこいいでしょ♡



みて～!  
トンボの  
ぬけがら!!



市内の身近な場所に自然豊かに楽しめるスポットがあって、あざいな  
と思いました。子どもたちも遊園地より夢中で楽しそうでした。(園児母)

暑いからとクーラーのきいた家の中で過ごさず、  
こどもも有意義でした。トマトやキュウリもいだけて、  
嬉しかったし美味しかったです。(園児母)



カブトムシやトンボも捕まえることができた (園児)

7/28(土)に参加予定だった金目川水系流域ネットワーク・平塚市主催の「金目川いきもの観察会」は、台風12号の接近により、残念ながら中止になりました。



# 知っておきたい！ 自然観察のマナー

7月8日、土屋源水谷戸に

自然観察をしていると、残念ながらマナーの悪さが目立つ場面に出会うことがあります。人との関わり、自然との関わり、様々な場面においてマナーを大切にしたいものです。今回は自然観察におけるマナーについて少し取り上げます。(Vol.5に掲載した内容を一部変更して再録しました。) 文責：堀田佳之介

## ① 挨拶をしよう！

生きものを探しをする時、色々な場所に行かれると思いますが、民有地などは無断で立ち入ると不法侵入となります。「こんにちは」「ここで虫探してもいいですか？」など一声掛け、許可を得てから生きもの探しをしましょう。

## ② たくさん捕ったけど、どうする…？

生きものの採集は、実物に触れることで様々な情報を得たり、子どもたちが“命”について考えることができる貴重な機会です。いろいろ試行錯誤したり、失敗しながら学ぶことも大切ですが、採集圧が希少な生きものにダメージを与えてしまう場合もあります。節度を持って生きものに触れ合いましょう。



## ③ ルールがある場所もあるよ

場所によっては、網が持ち込めない所、動植物を取ってはいけない所などのルールがある場合があります。みんなが気持ちよく自然観察ができるように、ルールを守って楽しみましょう。



## ④ ゴミは持ち帰ろう！

山林や河川・海浜など、様々な場所で捨てられたゴミが目立ちます。釣り糸に絡まって命を落としてしまう鳥もいます。ゴミは必ず各自で持ち帰るようにしましょう。



## ⑤ 壊さないで…

カブトムシやクワガタムシを採集するため、樹木を故意に傷つけたり、ゼリーや果物等のトラップが放置されていたり、根元の土を掘り返したままになっている場面をよく目にします。樹木はむやみに傷つけない、仕掛けたトラップは回収する、根元の土は元に戻すなど、マナーを守りましょう。



## ⑥ 外来種の問題を知ろう！

現在、人の手によって移動された外来種の問題は、地域の自然を脅かす一因となっています。例えばアカボシゴマダラ大陸亜種(名義タイプ亜種)は、チョウの愛好家によって中国から持ち込まれたものが放されてしまったようで、1998年に藤沢市で発見されて以降、爆発的に増えてしまいました。

はっけん隊のお約束(P27)にもありますように、「生きものを持ち帰る時は最後まで飼う、逃がすなら元の場所に」を私たち一人ひとりが実践し、その生きものの分布域を人の手で乱さないようにしていきましょう。







「カラフルなおはな とんぼとちょう」  
あらい いさ (5才)



「くわがた」  
うじい いぶき (4才)



「ふうサキシジミ」  
あいざわ るか (8才)



「なつやあみにみつけたいきもの①」  
ささき みあか (5才)



「なつやあみにみつけたいきもの②」  
ささき みあか (5才)

## 生き物絵画大募集!

テーマは自然!

A4 サイズ・縦向きで  
裏に題名と氏名・年齢  
を書いて  
幼稚園まで持ってきてね!



「トトそだてたよ、お水あげたらカエリが  
てきた!」 わたなべいよう (6才)



「ひまわりとあしたち」  
しながわのあ (5才)



「いろいろな鳥」  
ほった らいが (8才)



# はっけん隊 NEWS

## 平岡幼稚園の生物多様性保全の取組が神奈川県HPで紹介されました!

平岡幼稚園では、2009年に園内をビオトープ化し、様々な生きものを呼び込む活動をしています。これまで神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006(現行の県レッドデータブック)に掲載されている31種を含む約400種が園内で記録され、大きな成果が得られました。さらに、この園内の自然環境を生かした教育活動の幅も広がっています。これらの成果が認められ、教育機関として初めての事例掲載に至りました。活動紹介のページは、以下のURLで閲覧できます。“神奈川県”“生物多様性の取り組み”で検索しても閲覧できます。ぜひご覧ください。

神奈川県HP(平岡幼稚園の取組)  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/t4i/cnt/f12655/p1099221.html>



## 本誌が茅ヶ崎市史文獻目録に収録されました!

2018年7月発行の「ヒストリアちがさき第10号」の市史文獻目録に、本誌Vol.2のはっけん隊活動報告「茅ヶ崎里山公園自然観察会」とVol.4のナチュラルイラストレーター森上義孝先生の特集「湘南の原風景～65年前の自然と暮らし～」が収録されました。私たちの活動が茅ヶ崎市の歴史と共に残ることになります。

今後も、隊員の皆さんと一緒に湘南地域を主とした様々な自然情報の収集・発信を行いながら、自然誌資料としての価値を高めていきたいと思っております。

平山孝道, 2018. 茅ヶ崎市史文獻目録(41). ヒストリアちがさき(10): 68-73.



## 『湘南自然誌』バックナンバー

### ① HPでダウンロード

平岡幼稚園のHPからPDFがダウンロードできます。

<http://hiraoka-kg.com/>

### ② 公共施設で閲覧

収蔵先> 国会国会図書館、神奈川県立図書館、神奈川県立生命の星・地球博物館、神奈川県立秦野ビジターセンター、平塚市博物館、平塚市図書館、大磯町立図書館、大磯町郷土資料館、秦野市くずはの家、平塚市子育て支援センター

## 「平岡いきものはっけん隊」と「湘南自然誌」について

### 「平岡いきものはっけん隊」って?

「平岡いきものはっけん隊」(略称:はっけん隊)は、平岡幼稚園の在園児と卒園児及びその家族と、教職員で構成されています。各界有識者の助力を得ながら、隊員それぞれができる範囲で自然と関わる機会を作っています。

### 「湘南自然誌」はどんな本?

本誌は、子どもから大人まで自然の不思議・面白さをより深く楽しみながら学ぶための教育誌です。また、園や隊の活動とその成果の報告を行い、地域の自然情報を広く発信する情報誌でもあります。

### 平岡幼稚園の紹介

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生きものを呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全する活動を行っています。昭和42年開園、学園地総面積7,501㎡。

- 【受賞歴】2012年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2011「学校園庭ビオトープ奨励賞」受賞  
2014年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2013「日本生態系協会賞」受賞  
" 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に「平岡幼稚園ビオトープ」が選定  
2015年 生物多様性日本アワード 最終選考  
2016年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2015「日本生態系協会賞」受賞  
2018年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2017「日本生態系協会賞」受賞

### 【主な研究・発表実績】

- ◆2015年  
平塚市内のセミのぬけから調査(2014年). 自然と文化, (38): 33-46. 平塚市博物館.
- ◆2016年  
平塚市とその周辺地域のセミのぬけから調査(2015年). 自然と文化, (39): 41-59. 平塚市博物館.  
神奈川県西部(主として平塚市)のハルゼミ調査. 自然と文化, (39): 29-40. 平塚市博物館.  
神奈川県平塚市でミンミンゼミ赤色型を採集. Cicada, 22(2): 40. 日本セミの会.  
平岡幼稚園(平塚市岡崎)でヒラタクワガタを目撃. 神奈川虫報, (190): 26-27. 神奈川昆虫談話会.
- ◆2017年  
平塚市におけるトンボ目の生息状況(2015-2016). 神奈川自然誌資料, (38): 59-66. 生命の星・地球博物館(共著)  
平塚市と周辺地域のセミのぬけから調査(2016年). 自然と文化, (40): 41-60. 平塚市博物館.  
神奈川県におけるハルゼミ *Terpnosia vacua* (Olivier, 1970) 調査. 自然と文化, (40): 61-80. 平塚市博物館.  
アブラゼミ脱皮殻にみられた畸形. Cicada, 23(2): 37-38. 日本セミの会.
- ◆2018年  
平塚市と周辺地域のセミのぬけから調査(2017年). 自然と文化, (41): 31-50. 平塚市博物館.  
神奈川県におけるハルゼミの生息状況調査(2017年). 自然と文化, (41): 51-65. 平塚市博物館.

### はっけん隊のお約束

#### ① 安全第一!

「どうしたら危ないかな?」を親子で考えて、お子さまの危険を察知・回避する力を養いましょう。

#### ② 持って帰るなら最後まで飼う、逃がすなら元の場所に!

生き物の分布域を人の手で攪乱すると、地域の生態系を乱してしまう可能性があります。

### 編集後記

今号は私や園長が撮影した写真が入らないほど皆から生きもの情報が多く集まりました。倉戸以来初の27P 編成となり、嬉しい悲鳴をあげることとなりました。

今回の特集は、読者から質問を募集するという参加型の企画でした。子どもたちの素朴な疑問は、よくよく考えてみると大人でも返答が難しく、生きものの世界を知る良い入り口になったかと思えます。岸先生、ありがとうございました。同様な特集はいつでも企画したいと思いますので、生きものに関する疑問があったら是非編集部へお伝えください。

最後に、写真提供・撮影協力をしていただいた神奈川県立生命の星・地球博物館、神奈川県立自然環境保全センター、よこはま動物園ズーラシア、藤田裕氏、斎藤常富氏、金子典芳氏に感謝申し上げます。(富岡)